

「こまつ市民読書活動推進計画2025」パブリックコメント一覧表

ページ	項 目	意見の概要	市の考え方	計画修正
8	乳幼児期における取組 (2)認定こども園・保育園(所)、幼稚園等 ○高校生、大学生の他、地域の方やボランティアによる読み聞かせ等を取り入れる。	外部の人間が現場に入る際、特定の思想に偏った読み聞かせ(刷り込み)が起きないか懸念している。そうしたスクリーニングは各所にて既に実施されているのか？(参考:ジェンダー肯定医療、ジェンダーアファーマーミングケア)図書館の蔵書についても懸念している。	地域のボランティアなど外部の人が読み聞かせを行う場合には、読み聞かせの目的や施設の方針を理解していただいた上で、職員も同席して実施しています。そのため、特定の思想に偏った読み聞かせ(刷り込み)が行われる余地は無いと考えていますので、スクリーニングは行っておりません。今後も公平な環境を保つよう努めてまいります。 市立図書館の蔵書についても、小松市立図書館資料収集方針、小松市立図書館資料選定基準に則り、特定の思想に偏らず公平な立場で選定を行っています。	無し
12	少年期における取組 (3)地域 ◇PTA ○子どもがSDGsに関心を持ってもらう 各種取組の項目の中に「読書・作文」を設けて、読書活動への呼びかけを行う。	アメリカが廃止したDEIの曖昧な指標が取り扱われているSDGsについて、今取り扱うべきなのか。子どもたちが取り組むことに意味があるのか疑問である。	本市は令和元年に国から「SDGs未来都市」に選定され、目標達成に向けた様々な取組を推進しています。今後も引き続き、子どもたちへの読書活動推進の一環として、SDGsの各種取組を通じた読書活動の啓発を行ってまいります。	無し
13	少年期における取組 (4)図書館 ボランティアに向けた読み聞かせ講座を開催	各学校の図書ボランティアに向けておはなし会の製作講座を開催してほしい。	読み聞かせ講座については、充実した内容となるよう、ご意見も参考にしながら引き続き実施してまいります。	無し